

## 沈下修正に関するアンケートのお知らせ

添付の通り、地盤工学会「浅層盤状改良による宅地の液状化対策委員会」より、アンケートの依頼がきております。該当する会員におかれましては何卒ご協力お願いいたします。

●アンケート名	液状化被害に伴う沈下修正住宅の傾斜被害程度調査のお願い
●アンケート内容	添付資料
●アンケート用紙	NPO 住品協ホームページよりダウンロードください (※information よりエクセル形式の用紙が取得できます。)
●アンケート送付先 及び問い合わせ先	「浅層盤状改良による宅地の液状化対策研究委員会」委員 (株)ミサワホーム総合研究所 松下克也 TEL : 03-3247-5643 E-mail : <a href="mailto:Katsuya_Matsushita@home.misawa.co.jp">Katsuya_Matsushita@home.misawa.co.jp</a>  ※アンケート用紙(エクセルファイル)にご記入の上、 上記メールアドレスまで送付願います
●締切	2012年3月15日

正会員、準会員各位

### 会員種別更新届け 提出のお願い

先日、各会員宛てに郵送しました通り、会員種別更新届けの提出をお願いいたします。

締切は3月15日(木曜日)となっております。

よろしくお願ひいたします。

住宅地盤品質協会  
会員会社様 各位

平成 24 年 2 月 27 日

地盤工学会「浅層盤状改良による宅地の液状化対策研究委員会」

代表：横浜国立大学 大学院  
教授 谷 和 夫

### 液状化被害に伴う沈下修正住宅の傾斜被害程度調査のお願い

平素は、住宅の地盤品質の向上にご尽力いただき誠にありがとうございます。

さて、先の東日本大震災では、液状化の発生によって、戸建て住宅は甚大な被害を受けました。このように、今回の液状化被害は、住宅の沈下傾斜に代表されますが、その傾斜程度の評価は、品確法（3/1000、6/1000）、被災度判定（1/100、1/60、1/20）など、統一された評価基準となっておりません。言い換えれば、液状化判定の結果を基に対策工を検討する場合の許容値（設計目標値）が明確でないため、どの程度の地震に対してどのような対策をすればよいのかが判らない状況にあります。

このような現状を踏まえ、国土交通省は、東日本大震災から復旧・復興に向け、平成 23 年度補正予算により、建設技術研究開発助成制度「震災対応型技術開発」として、特に緊急性・重要性の高い「液状化」に係る技術開発課題に対し、国費を助成しています。

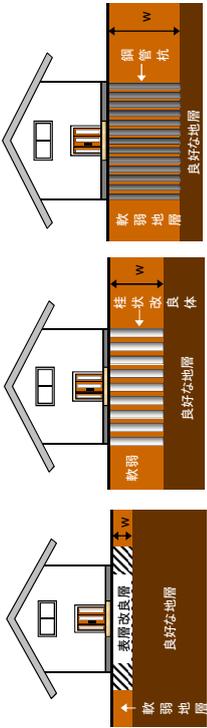
この制度に採択された「宅地の液状化対策の合理的な設計方法の研究」のなかで、まず、小規模建築物（特に戸建て住宅）の液状化に対する適切なクライテリアを抽出することが課題に挙げられています。

そこで、液状化により沈下傾斜した住宅において、生活に支障を及ぼす傾斜の程度を数値化するために、沈下修復された、又は、沈下修復する予定の住宅がどのくらい傾斜していたのかを明確にいたしたく、調査にご協力をお願い申し上げます。

〔 調査データは、上記目的以外には使用いたしません。個人情報に十分な注意を払うために、施主名や建築会社名は不要です。また、場所は、丁目までで結構です。 〕

■本件に関する問合せ先及びデータ送付先  
「浅層盤状改良による宅地の液状化対策研究委員会」委員  
（株）ミサワホーム総合研究所  
松 下 克 也  
TEL：03-3247-5643  
E-mail：Katsuya\_Matsushita@home.misawa.co.jp

液状化によって沈下傾斜した住宅で、沈下修正したもの又は、沈下修正しようとしているものを記入してください。(修復しない被害住宅(調査のみ)は除く)



■ 沈下修復住宅の被災程度一覧 3月15日までに、ご返信をお願い申し上げます。

場 所 (丁目まで)	建物構造	階数	用途	基礎	地震前の地盤対策工法		被害程度		修復工法				費用(万円)	受注形態	特記						
					表層改良	柱状改良	鋼管杭	深さ(w)	本数	傾斜角	不同沈下量	土台揚げ				耐圧版	鋼管圧入	薬液注入	工費(万円)		
例1 浦安市美浜3丁目	鉄骨造	2	住宅	布	○		2.0m				16/1000	13cm			○	500~750	1000~	住宅会社			
例2 千葉市美浜区磯辺5丁目	木質7階建	2	店舗併用	べた		○	9.0m	40本			24cm	24cm			○	750~1000		オーナー			
1																					
2																					
3																					
4																					
5																					
6																					
7																					
8																					
9																					
10																					
11																					
12																					
13																					
14																					
15																					
16																					
17																					
18																					
19																					
20																					
21																					
22																					
23																					
24																					
25																					
26																					
27																					
28																					
29																					
30																					

被害程度(傾斜角または不同沈下量)

建物構造(木造軸組・ツーバイフォー・木質プレハブ・鉄骨造・RC造)  
階数(1・2・3) 、 用途(住宅・共同住宅・店舗・店舗併用)  
基礎(布・べた)  
地盤補強(表層改良・柱状改良・鋼管杭・RC杭・その他)